

I. 学生意識・学習調査（2・3・4年）の概要

- 1.調査目的：学習生活や学習面を調査し、今後の教育・学生生活の充実を図ることを目的としている
- 2.調査対象：学部2・3・4年生 4,768名
- 3.調査方法：Google Forms
- 4.調査期間：2023（令和5）年5月8日～6月30日
- 5.回答状況：回答者1,164名の内、有効回答者1,163名を集計

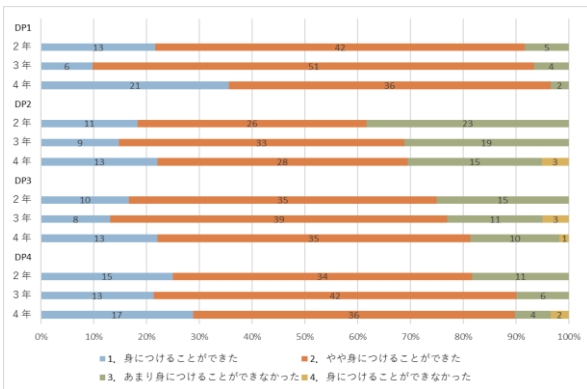
所属/学年	2年			3年			4年			総数		
	回答者数	在学生数	回答率	回答者数	在学生数	回答率	回答者数	在学生数	回答率	回答者数	在学生数	回答率
1.経営学科	60	392	15%	61	390	17%	59	357	17%	180	1099	16%
2.ホスピタリティ・マネジメント学科	49	192	32%	24	163	15%	20	165	12%	93	480	19%
3.経済学科	71	274	26%	78	299	30%	49	270	18%	198	803	25%
4.法律学科	71	345	21%	50	320	16%	77	385	20%	198	1050	19%
5.国際関係学科	52	135	39%	55	149	37%	49	164	30%	156	448	35%
6.多文化コミュニケーション学科	56	146	38%	79	143	55%	63	146	43%	198	435	46%
7.都市創造学科	34	140	24%	57	162	35%	49	151	32%	140	453	31%
総計	393	1584	25%	404	1846	26%	366	1638	22%	1163	4768	24%

II 回答結果

設問2. 所属学部・学科の教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

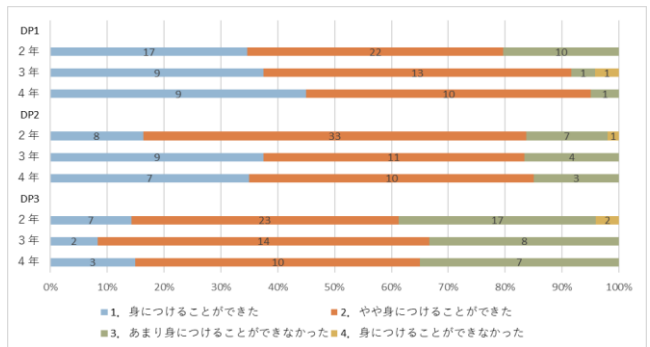
▼経営学科

- DP1：企業や社会のしくみやあり方に興味を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。
 DP2：グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。
 DP3：情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。
 DP4：経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。



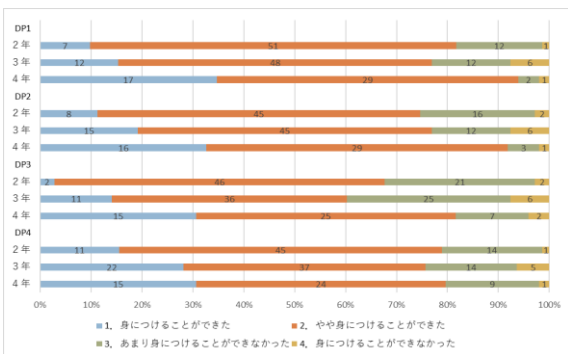
▼ホスピタリティ・マネジメント学科

- DP1：ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる。（知識・理解）
 DP2：経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる。（思考・判断・技能・表現）
 DP3：グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる。（関心・意欲・態度・表現）



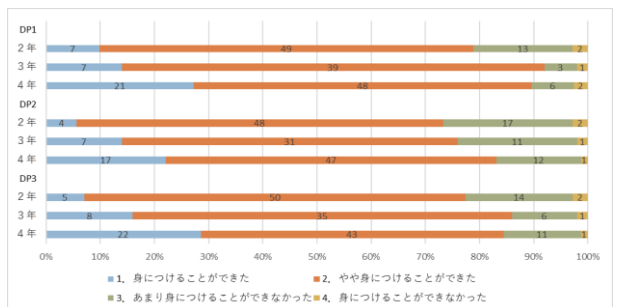
▼経済学科

- DP1：経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。
 DP2：グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている。
 DP3：アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。
 DP4：他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。



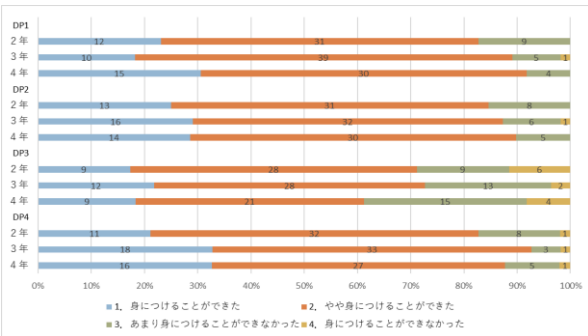
▼法律学科

- DP1：法学及び政治学の主要分野について、基本的な専門知識を習得している。
 DP2：多様な構成員からなる複雑な現代社会において、さまざまな利害をめぐり生ずる諸問題に積極的に取り組み、真に解決すべき課題を的確に把握する能力を有する。
 DP3：多数者と少数者などの相対立する主張を客観的に捉え、公平な立場から、ルールに則り妥当な解決を導く判断力を有する。



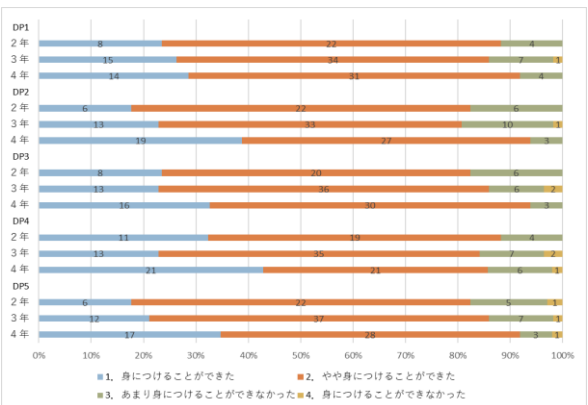
▼国際関係学科

- DP1：政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。
- DP2：この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。
- DP3：一定水準の英語運用能力を備えている。
- DP4：国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。



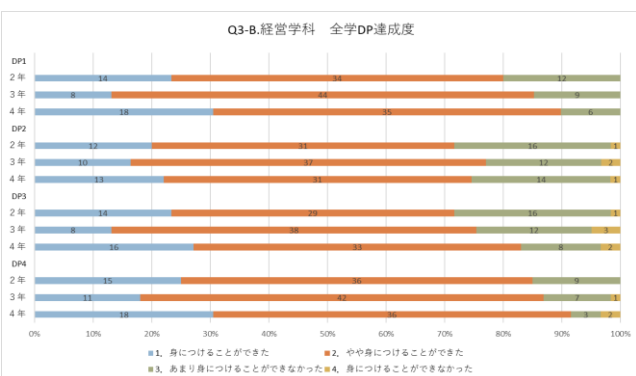
▼都市創造学科

- DP1：大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している。
- DP2：大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察できる。
- DP3：3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる。
- DP4：他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる。
- DP5：目標を定め、自らのキャリアを体系的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を持続できる。



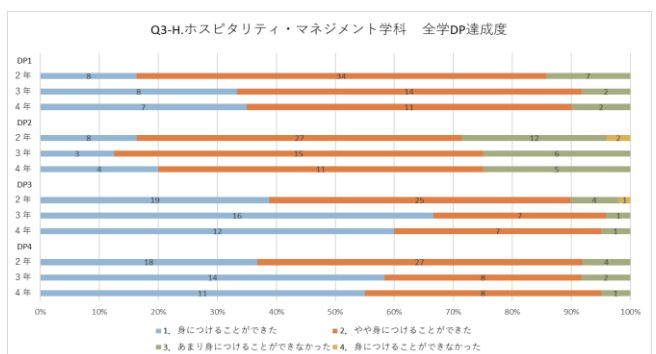
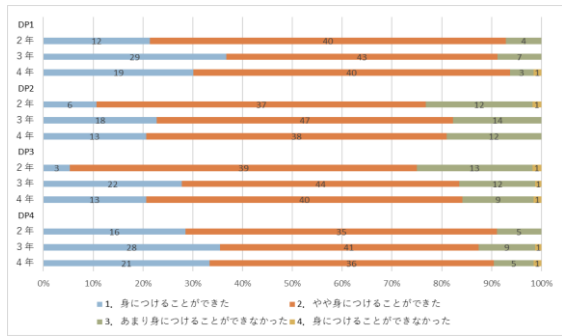
設問3. 大学全体での教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

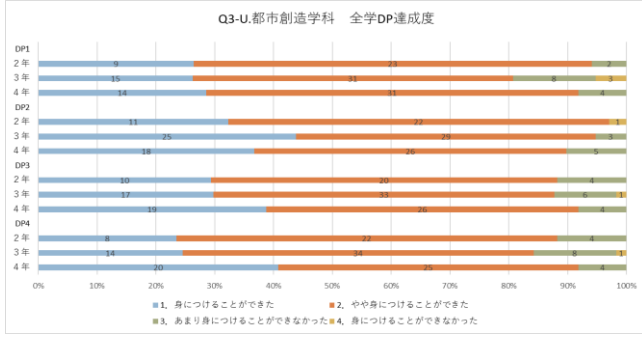
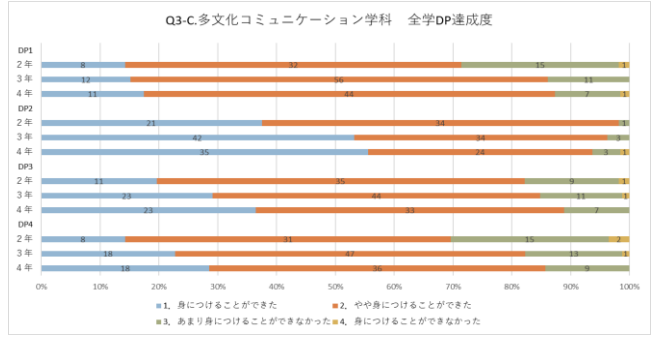
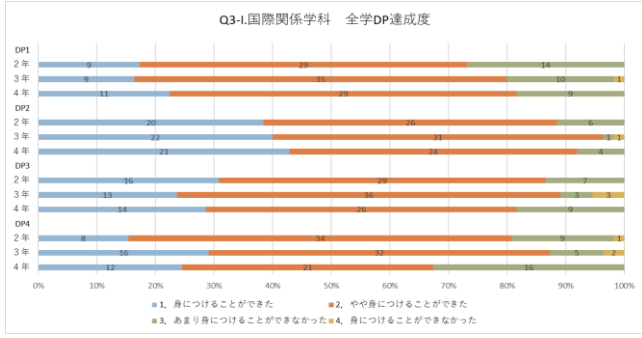
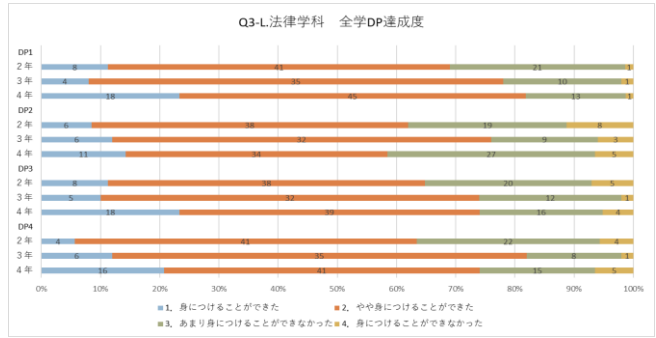
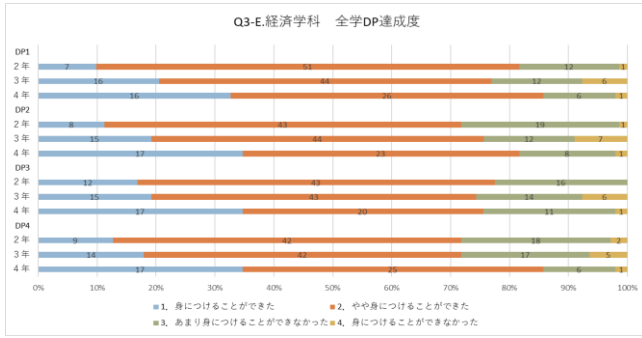
- DP1：幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。
- DP2：グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。
- DP3：他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。
- DP4：目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる。



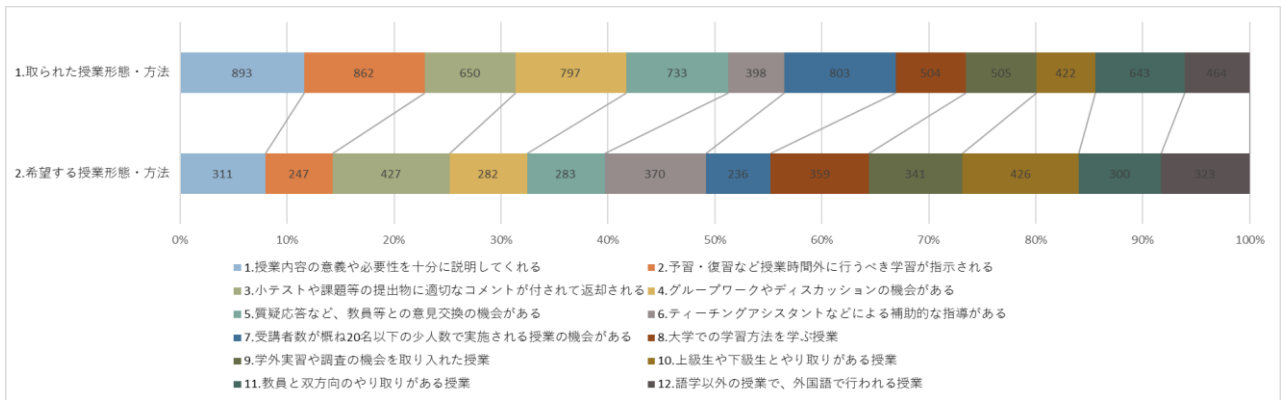
▼多文化コミュニケーション学科

- DP1：国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を習得している。
- DP2：一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力をつけている。
- DP3：多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。
- DP4：文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。

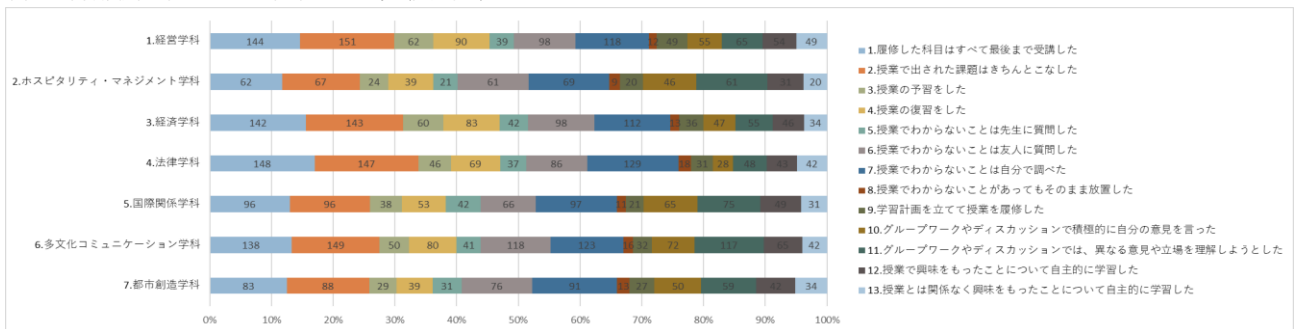




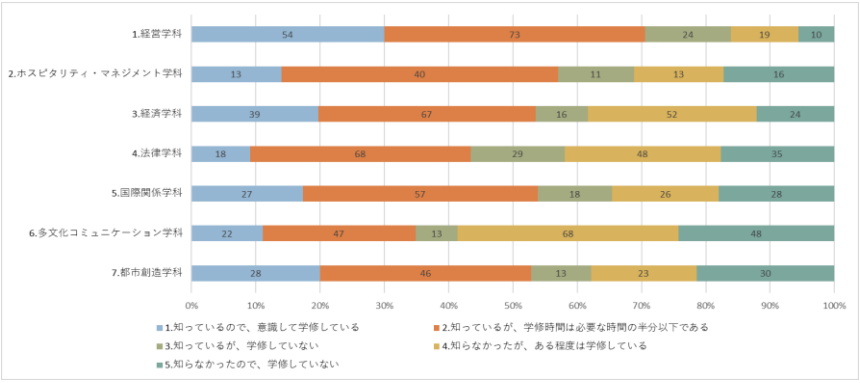
設問4. 昨年度受講した授業の中で、以下の授業形態・方法が取られた科目はありましたか、またどの授業形態・方法を希望していますか。（複数選択可）



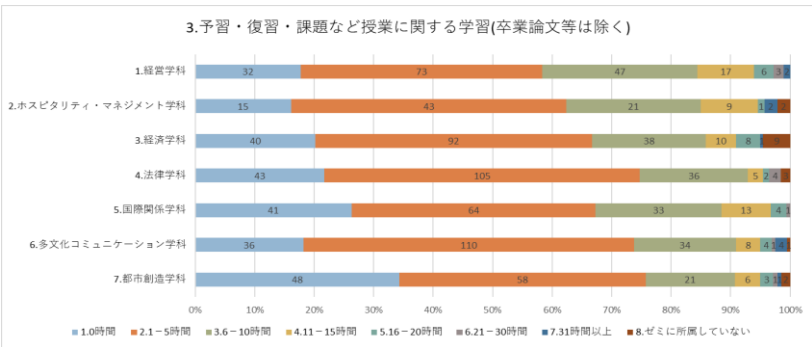
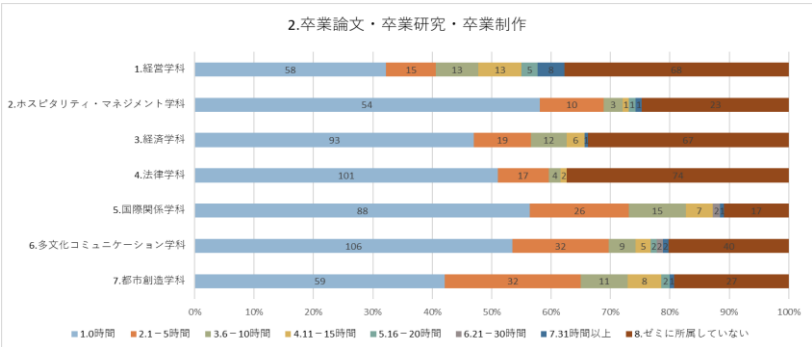
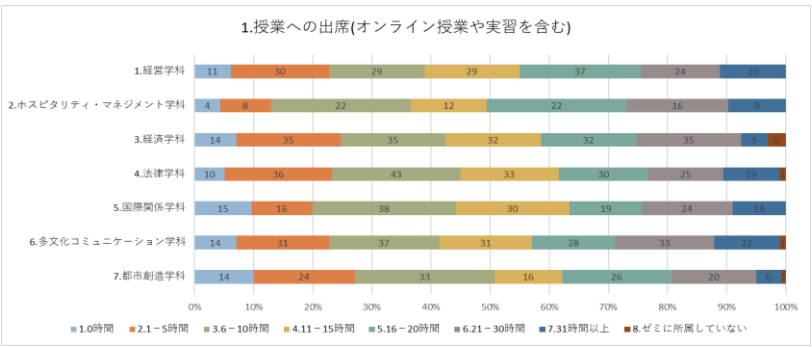
設問5. 昨年度、授業に対してどのように取り組みましたか。（複数選択可）

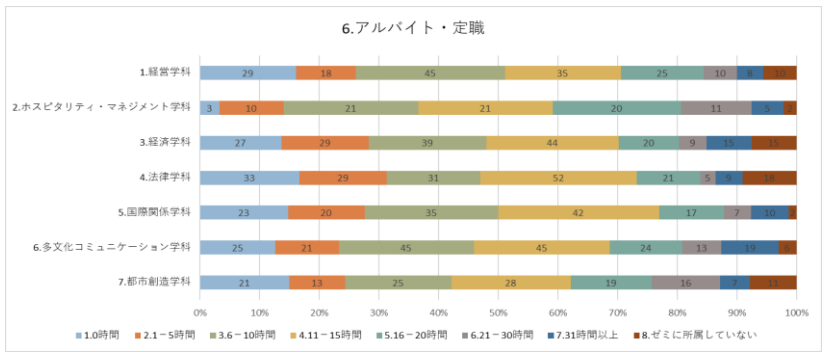
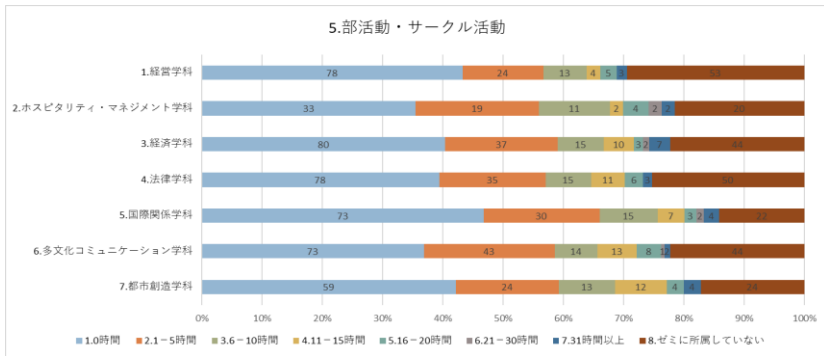
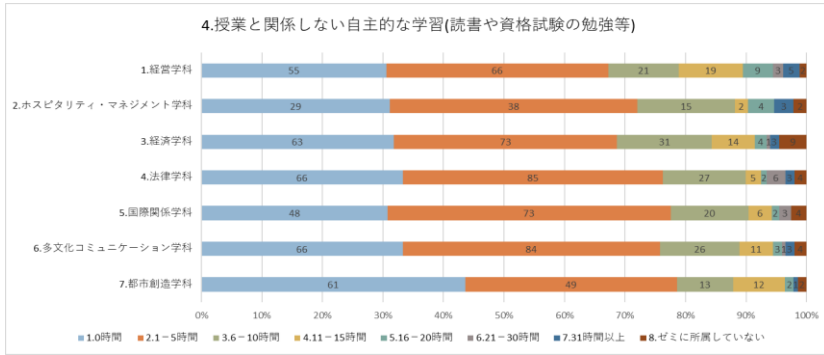


設問6. 大学における講義科目の1単位を取得するには45時間の学修が必要とされており、本学の場合105分の授業（1単位科目）に対して1時間半強の自習が必要であることをご存じでしたか。昨年度1年間を振り返り、授業時間外の学修状況（予習・復習など）に近いものを選んでください。

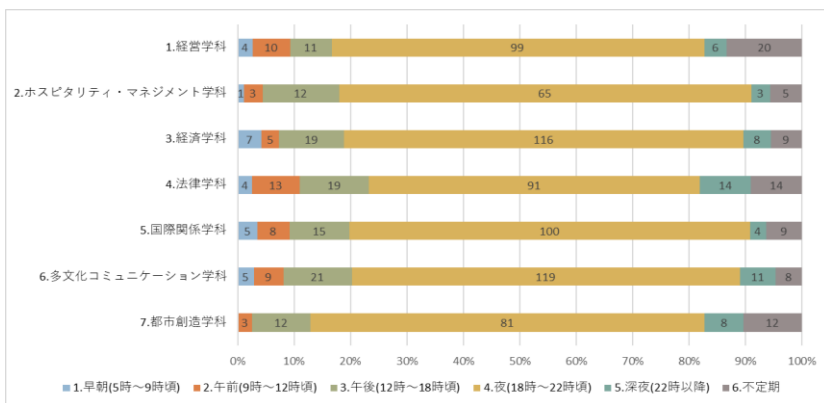


設問7. 昨年度を振り返って、授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

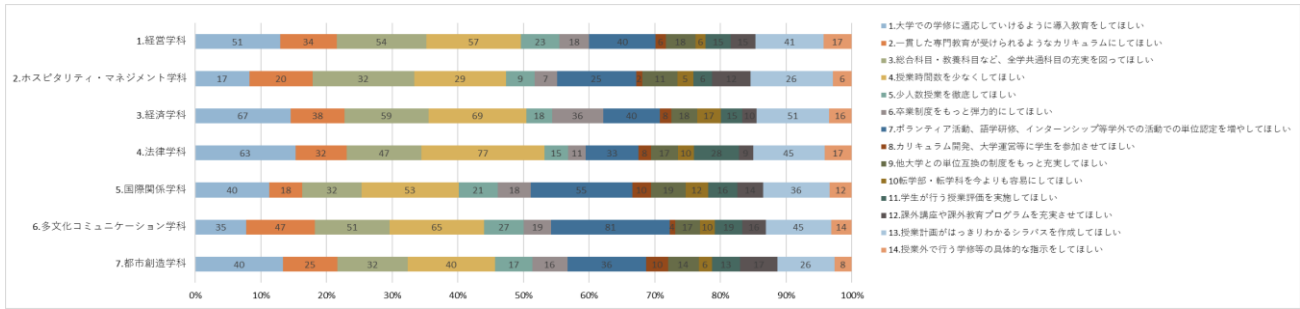




設問8：アルバイトをしている学生のみお答えください。アルバイトをする時間帯で最も頻度の多いものを選んでください。



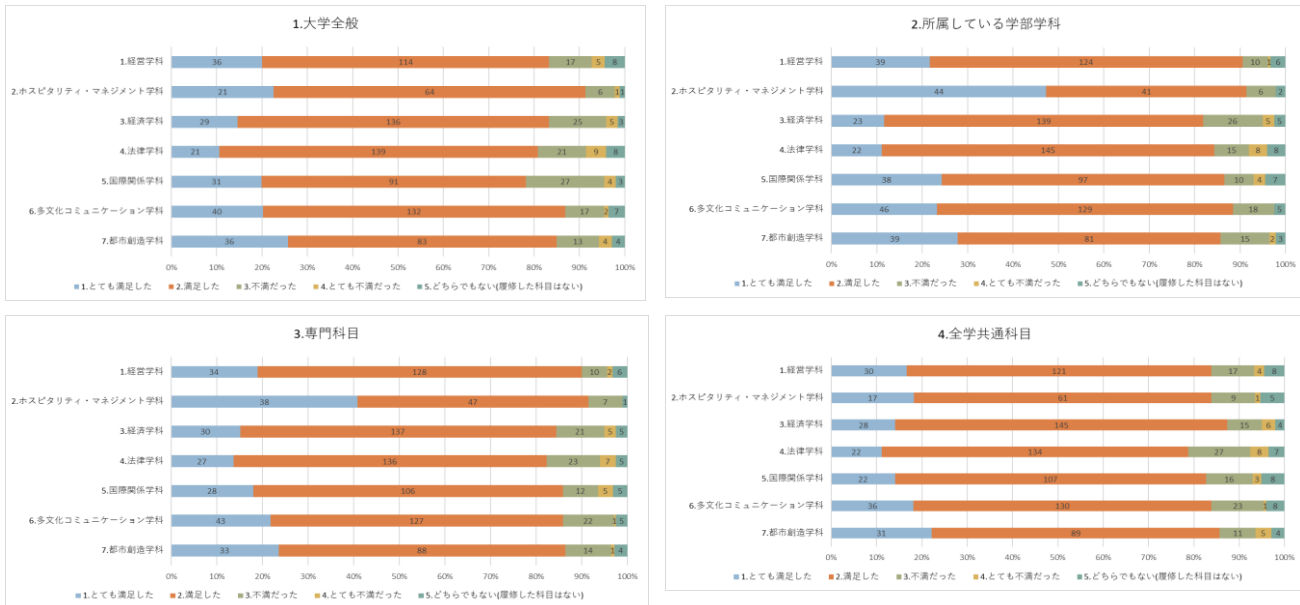
設問9： 本学の教育内容や方法に対する期待や要望にはどのようなものがありますか。3つまで選んでください。（複数選択可）



設問10： よかったと思う授業を教えてください。正式名称で回答してください。（例：心理学Ⅱ、英語コミュニケーションⅢ）

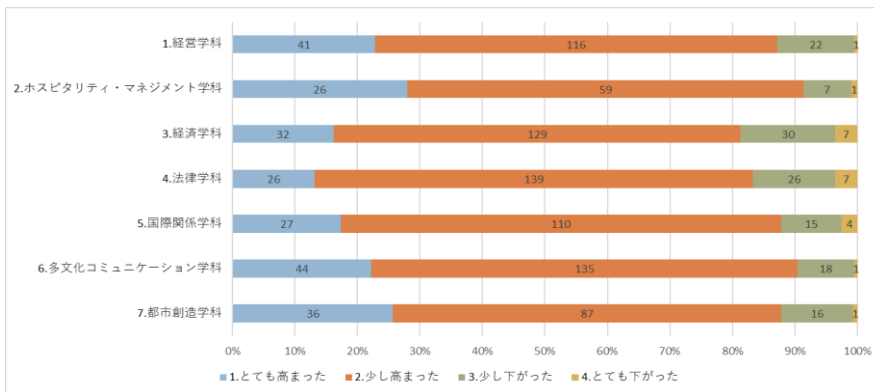
設問11： よかった理由を教えてください。（別紙）

設問12： 昨年度1年間を振り返って、授業や大学生活にどの程度満足していますか。



設問13： 授業全般や学部・学科に対して要望がありましたら、箇条書きで教えてください。（別紙）

設問14： 昨年度1年間を振り返って、学習意欲は高まりましたか。



設問15： 本学に対する意見や要望がありましたら、箇条書きで教えてください。（別紙）